

# 道路管理システムを実証実験

埼玉県上里町でオリコンサル

## 仕組み、ツールなど検証

オリエンタルコンサルタンツは21日、埼玉県上里町役場で、同町内で実施しているICT(情報通信技術)道路維持管理システムの実証実験概要を発表した。野崎秀則社長は、「実験で維持管理の仕組み、ツール、体制を検証したい」と説明、同町職員に実際に使ってもらい、使い勝手の

良いシステムに改善することが最大の目的と述べた。

実験は巡回点検支援、定期点検支援、遠隔診断、異常検知の4つのシステムを組み合わせ、8月からスタート、2014年9月まで実施する。巡回点検、定期点検、遠隔診断は、スマートフォンやタブレット端末で現場の損傷状況などを入力、写真撮影することで、クラウドを通じて事務所のパソコンでもリアルタイムに情報を共有できるシステム。

異常検知は、道路監視カメラによって自動車の減速や回避行動から道路の異常を発

### 記者発表

上里町・株式会社オリエンタルコンサル



野崎社長(左)と高野正道副町長

見、道路管理者に通報する。4つのシステムは既に、個別に地方自治体などで利用されているが、トータルに組み合わせた活用は今回が初めてとなる。

これまでの実験結果について坂本浩之まち整備環境課長は、「2カ月半でデータが約100件蓄積した。データを紙に打ち出さなくてもよく、写真を撮った場所も地図をコピーして張らなくて済む」と効率化を評価した。

システムは同社が無償で提供しているため、町は実証実験を無料でやっている。来年3月に、それまでの実験結果を踏まえシステムをバージョンアップしたあと、9月までに『道路維持管理マネジメント手引き』を作成する。

同町が管理する道路は2261路線、長さ約410キロ、2層以上の橋梁数137橋。このうち5層以上の橋梁で、完成後50年超は現在7橋だが、20年後には40橋で全体の93%を占める。